

改善提案の書き方

中特グループの現在の改善提案シートを見てみましょう。

改善提案用紙 2019.11改訂		提出年月日																				
部門： 中特HD,中国特殊,吉本興業,ライフ,藤井興業,PHS	事業部長受付日:																					
所属： 氏名：	№：																					
件名																						
改善前:現状及び現状の問題点																						
①																						
改善後:改善案, 対策のポイント																						
②																						
効果 具体的な効果も定量的に なるべく金額換算し記入すること コスト・経費削減、売上増、省カ、業務効率化、品質向上、安全向上、企業IT/A/F/A、業務、他																						
③																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施案</th> <th>理由</th> <th>アイデア</th> <th>効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施案1</td> <td></td> <td>4. 特ニ優劣</td> <td>3. 大</td> </tr> <tr> <td>実施案2</td> <td></td> <td>5. 優劣</td> <td>2. 中</td> </tr> <tr> <td>実施案3</td> <td></td> <td>6. 優劣</td> <td>1. 小</td> </tr> <tr> <td>実施案4</td> <td></td> <td>7. 優劣</td> <td>0. 無し</td> </tr> </tbody> </table>			実施案	理由	アイデア	効果	実施案1		4. 特ニ優劣	3. 大	実施案2		5. 優劣	2. 中	実施案3		6. 優劣	1. 小	実施案4		7. 優劣	0. 無し
実施案	理由	アイデア	効果																			
実施案1		4. 特ニ優劣	3. 大																			
実施案2		5. 優劣	2. 中																			
実施案3		6. 優劣	1. 小																			
実施案4		7. 優劣	0. 無し																			
詳細点数： 効果 X 実施 + アイデア + 努力 = 点 詳細者コメント： 印 事務局長コメント： 印																						
役員印 追加コメント：																						
<small>※見解ある場合はここに記入し書提出 追加意見(評価コメントに対する)提案者記入： 必要により別紙等つけること</small>																						

①に改善のきっかけになった「ムリ、ムダ、ムラ」を現状の問題点として書きます。

②に改善の内容を書きます。文字だけでは伝わりづらいと思ったら、写真や図を別紙で添付してもかまいません。

③に得られる効果を書きます。時間や金額がきちんと数値で表現できると改善提案の質が上がり、評価がグンと上がります。

③に効果を数値で表現することが難しい場合は、先輩や上司、または他部門の詳しい方にぜひ積極的に相談して下さい。部門を超えて協力をあおぎ関わってもらう事も大きな成果を上げるポイントとなります。

「作業時間が2時間かかる所、1.5時間になりました」だけでは、その作業が年に1回しかない作業なのか、それとも年に100回ある作業なのかで効果は全く変わってきます。常に作業効率を上げる工夫を凝らし、これは良いと思われるものがあれば、自然と部署内で「これ改善提案にあげよう!」となると良いですね。

先進事例 J RCS 様の

取り組み

J RCS 株式会社様の改善専門の部署である生産推進室西村様にお話を伺いました。生産推進室では日々現場に向き、現場にある改善のネタの実現をサポートされています。部署設立当初の4年前には、全社員で改善を出そうと決めてもなかなか提出が増えず苦労されたそうですが、今では年間1人4件の提出という目標を達成できています。

J RCS 様の改善はテーマが絞られており「5S ムダ取り活動」となっていてその名の通り「5S に関する」と、「ムダをなくす」ための改善を出すこととなっています。皆さん発想の視点が合って改善を進めやすそうです。

また、社員さんが入社した際に受ける教育プログラムにおいて、改善に関わる教育の座学を受けることになっており、入社後すぐに改善提案に取り組み環境ができています。また、社内で面白い5S 啓発 YouTube 動画を見つけたら共有する等、社員の皆さんの関心



西村様 (写真右手前)

が高まる工夫もされています。今後は提出だけに留まらず、PDCAを回して経過観察付きで運用していくそうです。西村様、この度はお忙しい中ありがとうございます。

※ J RCS 株式会社…船舶の計器などを製造されており日本国内に留まらず海外取引もされている、社員数が約400人、下関の企業です。橋本CEOが様々な先進的取組を行っている J RCS 近藤社長様に共感し、訪問したことからご縁ができました。マルチスキルマップはこちらで運用されているシステムを参考にさせていただきます。

【昨年度改善提案最優秀賞受賞】

梅本主任は2018年度の改善提案の最優秀賞を受賞されました。素晴らしいです。

賞金で奥様と美味しいものを食べに行かれたそうですが、受賞した改善内容は、「パートライナー工法の施工改善」でした。提案書には手書きの図が入っていて分かりやすいです。

梅本主任に聞いた改善のコツは「とにかく良いと思ったことはやってみて、やりながら考えたらよいのでは」との事でした。現在現場作業からデスクワークに配置転換がありました。引き続き改善意識をもって日々の業務に取り組まれている様子です。



中国特殊(株)
エコ事業部 主任 梅本 貴史



サステイナブルを考えよう!

株式会社吉本興業 代表取締役 吉本 妙子

昨年末ごろから世界中を悩ましていた新型コロナウイルス（以下コロナ）についてですが、実は気候変動とも大きく関係があるようです。

現時点ではコウモリやセンザンコウなどが原因ともされていますが、なぜ日頃洞窟などの暗闇にいるコウモリ等の野生動物がウイルスの原因とされたのでしょうか。米国のニュースサイト「ザ・デイリービースト (The daily beast)」によると、気候変動の影響で、火災や干ばつ、洪水などの異常気象が各地で頻発。その為、一部の動物が生息地を失い、人間の居住地や家畜のいる地域に逃げ込み、近くの果樹などをエサとして食することで、その動物のフンなどから家畜を通して人間が病原体にさらされる可能性が高くなると報じています。

人間が自然環境を大幅に変えてしまった事で、既存の生態系を破壊し、野生動物の境界線をあいまいにしたり、また一部の国の文化によっては「野味（野生動物を食すること）」の習慣があることから、野生動物が運んだり感染したりする未知のウイルスに接触する可能性が出てきたという事です。

このコロナも突如として現れた訳ではなく、やはり私たち人間が招いたものなのです。未だ、この目に見えない恐怖に世界中の人々がさらされており、今後私たちの生活は大きく変わるとも言われています。

冬から春に季節が移り、たくさんの花々が咲く美しい季節に外出する事が制限されるのはとても辛い事でした。中特グループにおいても数々の楽しいイベントが中止され残念で仕方ありません。

これからの未来、私たち一人ひとりが真剣に地球環境の事を考え、生活を見直さなければ、結果として自らに返ってくることを自覚しなければならないですね。

さあ、頑張って明日も自転車通勤しようっ! (なんとなくユルユル継続中…)



Web 説明会やりました!

【3・5 企画広報室会議にて】

来年の新卒（2021年3月卒）採用に向け会社説明会の日程も3月13日に決まり着々と準備を進めていきましたが、新型コロナウイルスの影響でなんだか開催が危ぶまれる状況に…。

「新型コロナウイルスが蔓延しつつありますが会社説明会どうしましょうか!? 学生さんたちに会社まで来てもらうのもどうかと思いますが…」

「延期するしかないかな。しかし、いつできるか先が分からないね。」



「それならば、Webで会社説明会をやる。決まり!!」

という事で、アツという間に急遽中特グループ初の「Web会社説明会」を開催する事が決定しました。

Webと言ってもどの様なツールを使えばいいのか、なにを準備したら良いのか、など分からない事がいっぱい。企画広報室だけでは進まないし進めない…。

そこで、強い味方の「IT戦略室」の協力を求める事にしました。まさに、困った時のIT戦略室頼みです。

【3・6 IT戦略室と相談してから】

「ツールはこんなものがありますよ。」「取りあえず全部やってみましょう。」「このツールよりこっちのツールの方がいいよね。」「マイクも準備して!」と次から次へと準備が進んでいきました。『Webで会社説明会をやる』と決めてから開催まで20日間という短い日数でZoomを使って開催をする事に。当初は臨場感を出すために本社1階の商談スペースで開催しようかと思いましたが、雑音や背景の映りを考えて2階の第2会議室で開催することに。実はこの日を境にダチョウの実寸大模

型は2階に引越しています。(重かった…)

【3・16 リハーサル】

まずは何処でどの様なセットで開催するか、シミュレーションです。机の位置、カメラの高さ、養生テープを床に貼り付け画面に映りこむ範囲の確認など、細部にわたる確認作業が行われました。そして、セッティングが終わり本番さながらのリハーサルがスタート。

CEO…「話すときの目線はどうしたらこの位置が良い?」「途中で周りの皆で盛り上げてよ!」

と慣れないためか少々戸惑い気味のCEO。

関係者…「いつもの調子でOKです。」と、声が飛び交う中、無事にリハーサルが終了しました。初めての割には上々の出来で皆が成功を確信しました。

【3・26 Web会社説明会当日】

そして、いよいよ「Web会社説明会」当日。緊張のなか参加学生の皆さんの顔がモニターに映し出され、こちらからの呼びかけに「はい!」との反応を確認した時にはホッとしました。スタート後はCEOに理念や想いについていつもの様に熱く語っていただき、時々笑いを交えながら進み、無事に説明会



は終了しました。携わった社員から思わず出た拍手で「お楽しみ様でした!」と笑顔が溢れ、何とか「Web会

社説明会」は成功に終わりました。いざという時の団結力がすごい!と中特グループの底力を改めて実感した瞬間です。

今までもZoomを利用した遠隔会議は経験していましたが、この度の「Web会社説明会」の開催をきっかけに、最近ではZoomでの会議を開催することが当たり前となってきました。まだ未体験の社員の皆さんもWebを使った会議がどの様なものか参加されるのも良いですよ。ぜひ積極的に参加しましょう!

今までの当たり前が当たり前ではなくなり、新たな当たり前が出来上がります。新しい目まぐるしく変化していきます。新型コロナウイルスの影響でWebを使った日常が急速に進んでいます。理念にもある「時代の風向きに敏感に反応」する事が大切だと実感する毎日です。